



福井の名所探訪⑬

足羽山 あじさい (福井市)

福井市街地の西南に位置する標高116.8mの足羽山は歴史と自然がいっぱいの市民のオアシス。初夏には14,000株もの市花のアジサイが咲き誇ります。また、園内には足羽山公園遊園地や植物園、神社、市内を展望できる名所などが点在していて、のんびりした散策には絶好のロケーションとなっています。

理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| ① 最善の医療を平等に受ける権利 | ⑧ 健康教育を受ける権利 |
| ② 選択および自己決定する権利 | ⑨ 個人の尊厳を守る権利 |
| ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利 | ⑩ 宗教的支援を受ける権利 |
| ④ 患者様の意思に反する処置・治療 | ⑪ 退院後も治療や福祉を受ける権利 |
| ⑤ 十分な説明を受ける権利 | ⑫ より良い環境で治療を受ける権利 |
| ⑥ 情報開示を求める権利 | ⑬ 通信・面会を自由に行う権利 |
| ⑦ 個人情報およびプライバシーを保護される権利 | ⑭ 退院や処遇改善の請求を行う権利 |



すこやか講座

食事は生きていくためにも、また、生活の楽しみとしても大切です。今回はアルツハイマー型認知症を中心に過食と拒食への対応について紹介します。



過食(食べ過ぎ)への対応

過食の原因は、認知症で脳の満腹中枢が機能しなくなったためという説がありますが、ストレスがうまく発散できないことも大きな原因と考えられます。

過食になると、周囲の人はその行動をやめさせようとして、食べ物を隠すなどの行動をとりがちです。しかし、目につくところに食べ物がなくても戸棚や冷蔵庫にあれば、探して食べてしまいます。生肉や調味料など何でも食べてしまうので、かえって健康を害すことにもなりかねません。体重の変動に注意し、糖尿病などの病気がなければ、無理に止めずカロリーの低いものを置いておくことも対応の一つです。

充実感が得られればその行動は治まります。しかし、どういふストレスがあるのかを周囲の人が理解するのはたやすいことではありません。そのため、認知症早期の段階から本人とのコミュニケーションを心がけ、本人のニーズを把握しておくことが大切です。

拒食(栄養障害)への対応

❖空腹感がなく食べ物を欲しないときがあります。高齢になり日中あまり動かなくなると必要な摂取エネルギーは減ってきます。この場合、一日3食にこだわらず、2食にすることで拒食が改善されることがあります。

- ❖認知症の進行によって食べる行為自体が分からなくなることがあります。「食べましょうね」の声掛けだけでは行動することが難しいので、二人羽織のように後ろから食べる動作を介助することで、食べ方を思い出すことがあります。
- ❖色の識別がしにくくなり食事の認識ができないことがあります。テーブルの色と同じ色の食器は使わない、茶碗の内側が白っぽくないものを使うと認識しやすくなります。
- ❖空間の認知機能障害のため、食器の位置関係が分からなくなることがあります。みそ汁、ご飯、おかずとお皿が並ぶと混乱してしまって食べられないことがあります。その時は、丼のように食材を一つの皿に入れる、みそ汁にたくさんの具材を入れるなどの工夫をすると食べられるようになります。
- ❖心理的な原因から食べ物を拒否することがあります。認知症の人は日常生活のいろいろなことができなくなった自分に対し、辛い気持ちを持っています。しかし、その気持ちをうまく表現できません。認知症になっても様々な感情は残っています。元気に暮らしてほしい、という周囲の思いを伝えることで拒食から回復した人もいます。
- ❖身体の病気や口腔内のアクシデントがないかも確認することが大切です。

家族は今...

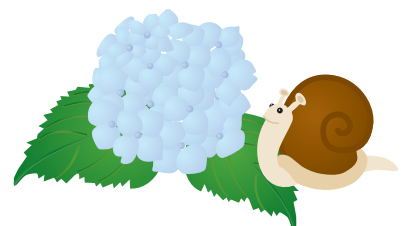
認知症介護経験者の友人やご近所の方々に 救われた私

Y.M

2005年母の物忘れが始まり、アルツハイマー型認知症と診断されました。2011年5月道に迷いケガをし、血だらけの状態で保護されました。その後も窓から飛び降り脱出、徘徊が始まり、家族がゆっくり休めるようにとケアマネージャーさんの助言もありショートステイを利用することになりました。お世話になっていた施設より母の興奮状態が強く「他の患者さんに危害を及ぼすこともあるので」と、専門医の受診を勧められました。処方された薬を服用するとたちまち母は別人の様になり、いつまでも家の中を早足で徘徊する日々。ふらつき転倒の危険もありその後も受診するが薬は増え症状も益々悪化！家族の疲労はピークに達し、精神的にも限界にきていました。そんな時、妻の情報を頼りに、^{ついで}もすがる思いで福井県立すこやかシルバー病院の相談員さんに家族の辛い気持ちをお伝えすると、素早く受診の機会を与えてくださいました。

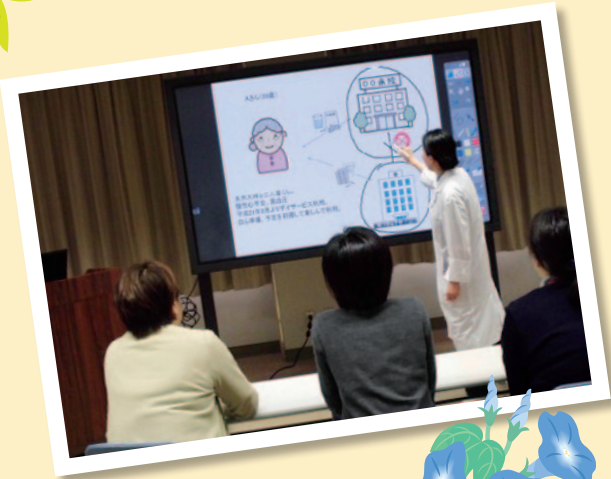
2012年7月当院を受診、診察していただいた院長先生には人としての温もりと信頼を感じ、今日は本当に来て良かったと久しぶりに安堵感を覚えました。7月12日二回目の診察で、院長先生に母の入院を勧められました。「お二人の顔を見ているともう限界でしょう」と言われ、地獄で仏に会ったような気持ちでした。7月17日入院、施設とは雰囲気が違うけれど万全の医療体制だから母も家族も安心です。薬の量も少なくなりました。その後、毎週母の様子を見に行くたび大きな声で笑い、迎えてくれます。その都度「元気が、食事はうまいか、眠れるか」の3つは必ず聞くことにしています。落ち着いた様子ですが症状は徐々に進み、今では息子の名前も出てきませんがマイペースで暮らしている母の姿を見ていると、当院にお世話になり本当に良かったと思っています。そして苦しい時に手を差し延べてくださった院長先生はじめスタッフの方々の"ご恩"に心から感謝しています。ありがとうございます。それから、本当に困った時、友人の認知症介護体験談や的確なアドバイスは心の支えとなり救われました。

又、ご近所の方々にも何度も助けていただきました。世間体を気にせずありのままを「話せる・聞いてくれる」そんな人達のおかげで今までやってこれたと感謝しています。又、親身になって支えてくれる妻にも感謝です。ありがとう。



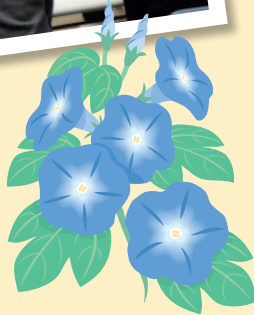
すこやか探検隊

最新トピックスを
ご紹介します!



25年度の研修に向けて、新しく電子黒板が導入されました。85インチの大画面にてどの席からも美しい色で確認できます。

電子ペンを使用し、直接画面の資料に書き込める、新しいスタイルで講義を受けることが出来るようになりました。是非、当院の研修にご参加下さいませようお待ちしております。



外来案内 月～金曜日 外 来 8:30～17:30
デイケア 9:30～16:00

		第1診察室	第3診察室	第4診察室
月曜日	医師	中野 葉子	伊藤 達彦	伊崎 公德
	午前	初診	再診	再診
午後				
火曜日	医師	中野 葉子	伊藤 達彦	福島 慎二
	午前	再診	初診	初診
午後		再診	再診	再診
水曜日	医師	中野 葉子	伊藤 達彦	伊崎 公德
	午前	再診	再診	初診
午後	初診	再診		
木曜日	医師	中野 葉子		小坂 浩隆・田中 悠二
	午前	再診		初診・(再診)
午後				
金曜日	医師		伊藤 達彦	
	午前		再診	
午後				

デイケアだより

3月 寿司バイキング



1月・2月は、利用者さんの体調不良などで、計画していた行事を開催することができず、年明け最初の行事開催となりました。昨年、栄養管理室と合同で開催した寿司バイキングが好評で、今年も開催することとなりました。

職人歴50年以上の大ベテランの職人さんが、目の前で握って下さいました。食べやすいように一貫の量はやや小ぶりで、巻き寿司は噛み切りやすいようにあらかじめ刻んだ具を入れ、表面には刻み海苔がまぶしてあります。

普段のデイケアと違う雰囲気のためか、握る様子を真剣に眺めている方や、少し緊張した様子の方もいらっしゃいましたが、食べ始めると表情がほころんで、喜んでおられる方ばかりでした。おかわりの声が何度も聞かれ、今年も大変好評でした。



とても
美味しそうですね!

おいしかった、お腹いっぱい……
ほやけどもう2切れちょうだい(笑)

あら、私、14貫も食べた?!
うそ〜(笑)



メニュー ＊お寿司 ＊菜の花のお吸い物
＊なめたけ和え ＊あんかけ卵豆腐 ＊いちご



4月 ファミリーレストランで軽食&菜の花畑

今年も昨年に続き、利用者さん達とファミリーレストランへ甘味を食べに外出しました。今年も一番人気は、冷やし白玉クリームぜんざい!「美味しそうやわあ〜」「やっぱりぜんざいは温かいのでなかなあかんわ」等、いろんな感想がありました。



天候の影響もあり、桜のお花見ができなかったため、今年は菜の花のお花見に行きました。田んぼ一面に咲いた菜の花は、黄色いじゅうたんのよう綺麗で、風に乗って清々しい香りも感じることができました。

The 病棟



院内研究発表

2月22日院内研究発表が開催されました。今年は6題の演題が出され、各部署が1年間掛けて取り組んだ研究報告を真剣な眼差しで聴き、最後の質疑応答でも多くの意見交換が交わされ、充実した研究発表となりました。



演 題

1. 『省エネ対策に伴う効果検証結果について』 事務部／総務医療グループ
2. 『当院の入院前・入院中の栄養状態の変化について』 診療部／栄養管理室
3. 『睡眠障害に対する介護的アプローチ』 看護部／介護士グループ(東病棟)
4. 『アルツハイマー型認知症の食事動作の先行期に着目した取り組み』 診療部／作業療法士
5. 『高齢者のオリーブオイルによる保湿効果の検証～スキンチェッカーを用いて～』
..... 看護部／看護師グループ(西病棟)
6. 『開口を嫌がる認知症高齢者の口腔ケアにハチミツを使用しての変化』
..... 看護部／看護師グループ(東病棟)



お花見

長い冬も終わり、テラスから望む満開の桜に春の訪れを感じました。今年は例年に比べ桜の開花が早く、患者様は晴天の下、お花見を楽しみました。



はじめまして!!



《新人紹介》



精神保健福祉士
山下 寛子

昨年10月よりすこやかシルバー病院相談室に配属になり勤務させていただいています。以前は福井県外で仕事をしていたため、生まれ育った福井県で仕事がしたいと思い転職しました。

相談室では、認知症の方の家族や物忘れを自覚する方から治療のことや生活の面での困り事など様々な相談対応をしたり、入院患者さんの家族の方と退院後の生活について一緒に考えさせていただいています。私はこれまでの仕事では精神障害をお持ちの方の生活支援をしていました。認知症の方の生活支援も、人の人生や生活に対する思いに触れさせていただき一緒に生活を考えていく点では同じで、人として成長していけるやりがいのある仕事だなと感じています。ただ、まだまだ認知症の方とかわる経験や私自身の人生経験が少なく至らないことが多いです。日々勉強させていただきながら認知症の方や家族の方が望む生活に向けてお手伝いが出来ればと思っています。どうぞよろしくお願いします。

《認知症看護認定 看護師 紹介》



副看護師長
和田 博之

はじめまして、私は認知症看護認定看護師の和田博之です。よろしくお願いします。あまりなじみのない資格だと思うので説明したいと思います。この資格は、ある特定の看護分野において、本人、家族に対して熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践し、多職種に指導、相談を行う役割があります。私は、平成24年の7月から認知症看護においてこの役割を果たせるようがんばっています。

今回、この役割がぶれないように自分の中で大事にしていきたい点を伝えたいと思います。それは認知症看護認定看護師として、対象者を十分に知る努力をするという点です。なぜならば、一人の人間として知る努力をすれば、業務に流されることなく対象者に戻ることができると考えているからです。また、知る努力をすることで対象者の問題だけにとらわれることなく、対象者の個性を引き出せる看護につながり、自分の役割がぶれにくいと考えているからです。看護、介護をする中で、対象者の問題行動が課題になりやすいです。しかし、認知症看護認定看護師としては、対象者の問題行動だけにとらわれないためにも、対象者を知るために必要な情報収集を行い、一人の人間として看護、介護を実践していきたいと考えています。

まだ、始まったばかりの認知症看護認定看護師の道のりですが、みなさんの協力のもと頑張りたいのでよろしくお願いします。



平成25年度 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

一般の方を対象にした研修

No.	研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
1	認知症の基礎知識と介護のポイント *同じ内容の研修を3回開催	6月1日(出)	午後1時30分～午後3時55分(午後1時から受付)	● 認知症の症状と治療 ● 認知症高齢者への介護のポイント	各50名
		9月10日(火)	午後1時30分～午後3時55分(午後1時から受付)		
		3月7日(金)	午後1時30分～午後3時55分(午後1時から受付)		
2	認知症に関する制度と相談窓口 *同じ内容の研修を3回開催	6月8日(出)	午後1時30分～午後3時40分(午後1時から受付)	● 介護保険制度について ● 困った時の相談窓口	各50名
		9月17日(火)	午後1時30分～午後3時40分(午後1時から受付)		
		3月14日(金)	午後1時30分～午後3時40分(午後1時から受付)		
3	認知症を予防しよう！ *同じ内容の研修を3回開催	6月15日(出)	午後1時30分～午後3時55分(午後1時から受付)	● 認知症を予防するための基礎知識 ● 心も体も元気に、健康に	各50名
		9月24日(火)	午後1時30分～午後3時55分(午後1時から受付)		
		3月28日(金)	午後1時30分～午後3時55分(午後1時から受付)		

ケア専門職の方を対象にした研修

No.	研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
1	高齢者の世界を体験しよう *同じ内容の研修を2回開催	6月7日(金)	午前10時00分～午後4時30分 (午前9時30分から受付)	● 高齢者の特徴と合併症 ● 高齢者疑似体験(演習)	各50名
		10月4日(金)			
2	認知症の理解 *同じ内容の研修を2回開催	6月14日(金)	午前9時40分～午後0時 (午前9時10分から受付)	● 認知症の症状と治療の基礎知識 ● 認知機能検査	各50名
		10月11日(金)			
3	抗認知症薬の理解 *同じ内容の研修を2回開催	6月14日(金)	午後1時30分～午後4時 (午後1時から受付)	● 抗認知症薬の効果、使用する際の注意点	各50名
		10月11日(金)			
4	認知症高齢者ケアの理解 *同じ内容の研修を2回開催	6月21日(金)	午前10時30分～午後4時10分 (午前10時から受付)	● 認知症高齢者ケア ● 原因疾患別ケア	各50名
		10月18日(金)			
5	高齢者に関する制度と医療連携 *同じ内容の研修を2回開催	6月28日(金)	午前10時00分～午後0時10分 (午前9時30分から受付)	● 介護保険制度 ● 医療機関との連携	各50名
		10月25日(金)			
6	認知症高齢者への作業療法 *同じ内容の研修を2回開催	6月28日(金)	午後1時30分～午後3時 (午後1時から受付)	● 認知症高齢者への作業療法 ● 演習	各50名
		10月25日(金)			
7	センター方式基礎研修 *2日で1回の研修	7月27日(出)	午前10時～午後4時 (午前9時30分から受付)	● 認知症の人を理解するための視点 ● 個別的支援を実践するための方法	40名
		9月7日(出)			
8	高齢者への食事援助	9月13日(金)	午前10時～午後3時30分(午前9時30分から受付)	● 高齢者への食事援助と口腔ケア	50名
9	高齢者への排泄援助とスキンケア	9月20日(金)	午前10時30分～午後3時30分(午前10時から受付)	● 高齢者への排泄援助とスキンケア ● 認知症高齢者への排泄援助の実際	50名
10	認知症高齢者ケアにおける倫理	9月27日(金)	午後1時30分～午後4時40分(午後1時から受付)	● 認知症介護の現場に活かせる倫理	50名
11	認知症高齢者の入浴困難、徘徊、収集に対する援助	10月19日(出)	午前10時～午後0時 (午前9時30分から受付)	● 認知症高齢者の入浴困難、徘徊、収集に対する援助法	100名

ケア専門職の方を対象にした実習

No.	実習名	開催日	実習時間	定員
12	デイケア実習 *同じ内容の実習を2回開催	7月2日(火)～3日(水) 2日間	実習1日目:午前9時30分～午後5時(午前9時から受付) 実習2日目:午前10時～午後5時	各5名
		11月19日(火)～20日(水) 2日間		

研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室
実習場所／福井県立すこやかシルバー病院 認知症デイケア

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部
Tel (0776) 98-2700